

平成 29 年 度 教 育 研 究 業 績 書

氏名 藤本寿彦

最終学歴	明治大学大学院文学研究科日本文学専攻修士課程修了	
取得学位	文学修士	
所属学会	日本近代文学会	
専門分野	日本近現代詩 幸田文を中心とする女性表現	
研究課題	昭和30年代の女性詩 幸田文における結核の文学表象	
授業科目	学部担当科目	<ul style="list-style-type: none"> ・言語・文学（通年） ・国文学講読（通年） ・演習Ⅰ（通年） ・演習Ⅱ（通年） ・近代詩歌論（前期） ・出版情報論（後期） ・近代文学概論Ⅱ（後期）
	大学院修士課程担当科目 （博士前期課程含）	<ul style="list-style-type: none"> ・日本言語文化論（通年）
	大学院博士後期課程担当科目	
	通信教育部担当科目	<ul style="list-style-type: none"> ・現代文学論
【研究上の特記事項】	ジャンルや時代を横断する女性表現を分析し、現代文学の問題点を解明する。	
【教育上の特記事項】	国文学研究のみならず、社会に通用するコミュニケーション能力や文書作成の能力が養えるような教育実践を心掛けている。	
【社会的活動】	日本近代文学会評議委員、日本近代文学館図書資料委員、山形県西川町「青い黒板賞」顧問	
【学内活動】 (学内職歴を含む)	文学部教務委員、就職委員	

研究業績[著書、学術論文等]				
著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書)				
①幸田文 「台所育ち」というアイデンティティー	単著	平成29年9月	田畑書店	
②				
③				
(学術論文)				
①色彩表現から見えてくる近現代詩 (V)	単著	平成29年7月	「江古田文学」	日本大学芸術学部 谷川俊太郎論
②読者の想念上に生き続ける「おとうと」を求めて	単著	平成29年9月	『幸田文「台所育ち」というアイデンティティー』	著書刊行のための書き下ろし 『おとうと』論
③ポスト結核小説としての『関』論	単著	平成29年9月	『幸田文「台所育ち」というアイデンティティー』	著書刊行のための書き下ろし 『関』論
④高田敏子『月曜日の詩集』論	単著	平成29年10月	「始更」	戦後家族のモデルを表象したテキストとして
⑤				
(学会発表)				
①				
②				
③				
(その他)				
①				
②				
③				